

2016年11月号

下大和田・小山町

No. 177

谷津田だより

ちば環境情報センター
谷津田プレーランドプロジェクト
TEL&FAX : 043-223-7807
E-mail:hello@ceic.info
<http://www.ceic.info/>

平成28年度 西さん戍さん達の田作り

～第10期大椎っ子田んぼ、第7期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

たった1本の苗が立派な株となり、たくさんの米を実らせました。雑草が稻を支え台風被害もまぬがれ、カカシにも守られ、無事に稻刈りを迎えるました。自然観察では、田んぼの生き物を集めた子どもたちは、夏から秋に飛んでいたトンボがたくさんのヤゴとなって世代交代していく命の循環にも気づいたようです。

◎大椎小学校 (9月26日実施)

★稻には多いと100以上、少ないものでも60のお米がついていました。1本植えからたくさんのお米ができてすごいと思いました。自然観察ではたくさんの生き物がいました。特にヤゴは数え切れないほどいました。学校田んぼにあったカヤネズミの巣は鳥の巣にっていました。(H.A.)

★田んぼにはくつ下ではいりました。どろでドロドロになり気持ち悪かったけど、少しだつとなれました。今まで稻を刈るのは、慣れてくると2~3回で刈れるようになりました。自然観察ではヤゴがたくさんいました。みながつかまえた生き物を集めたら100匹以上もいました。ホトケドジョウの顔がかわいいかったです。ヤゴは、体が細いのや太いものといろいろいました。(N.F.)

★初めて稻刈りをしたけれど、そんなに難しくなく楽しかったです。最初は慣れずに大変だったけど、慣れてくると簡単でした。学校田んぼにあったカヤネズミの巣を見せてもらいました。人間の前には姿を見せない臆病なネズミで、親指くらいの大きさと聞いて、とても小さいんだなと思いました。稻刈りしてすごく大変なことがわかりました。でも、とても楽しかったです。(H.S.)

★くつ下で田んぼに入ったので気持ち悪かった。自然観察では3人組になり田んぼの生き物調べをした。ヤゴをみつけ白いトレーにいた。他のグループではアメリカザリガニやホトケドジョウなどをつかまえていた。ちなみにホトケドジョウがかわいいと思った。今日刈った稻を脱穀し精米しておいしいお米になるのが楽しみだ。今日は疲れたけど楽しかった。(H.T.)

★稻刈りを体験したことになかったが、ボランティアの方が教えてくださり、どうやってやるのかがわかった。初めてだったけど意外とかんたんできました。農業の方々の大変さを知るいい機会になった。田んぼまで歩くのはちょっと暑くて疲れただけで、楽しかった。(M.K.)

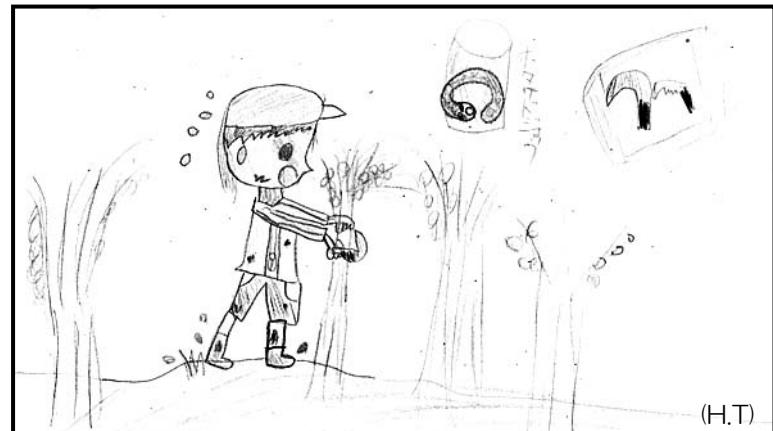
★稻刈りは機械では簡単でも手作業では大変だとわかりました。自然観察では初めて見た生き物もいました。虫が嫌いだったけれども、虫をみつけるのが少しだけ楽しくなりました。(C.N.)

★作業の前に教頭先生から、他の学校では谷津田での田んぼ作業はやっていない、当たり前だと思ってはいけないと聞き、こういった体験をできない子もいるんだと思ってやりました。自然観察では、みんなが見つけた生き物を集めるとヤゴがたくさんいましたが、トンボはありませんでした。冬は死んでしまうので、冬をいきのびて元気でいてほしいと思いました。お米が育てられるのは、おひさまと虫たちのおかげだと聞いて、太陽や虫に感謝して食べていきます。(R.F.)

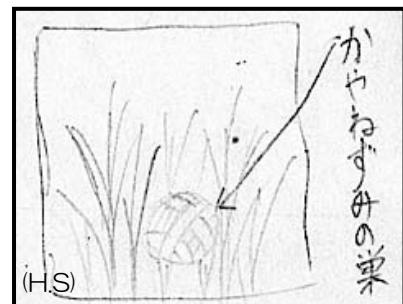
★稻刈りの前に自然観察をしました。自然観察では田んぼにどのような生き物がいるのかを調べました。田んぼにはヤゴがたくさんいることがわかりました。稻刈りでは育った稻をカマで刈っていき、ひもでしばりました。しばった稻を3束くらいずつ持って帰りました。(K.M.)

◎あすみ小学校 (9月29日実施)

★稻は硬い茎でカマで切るのが大変だった。葉もとがっていて危険だと聞いた。田植えから稻刈りといった、米になるまで時間がかかるので驚いた。田んぼの生き物や米を作っている人に、感謝の気持ちを込め、いただきますやごちそうさまを言って、米を食べてい



(H.T.)



(H.S.)



(M.K.)

きたい。自然観察では、7月とは違ってレアな生き物がたくさんいた。ホトケドジョウの触り心地が良かった。(T.H)

★カマの使い方に気をつけて自分に刺さらぬよう稻刈りをやった。雑草があり、少し一緒に取ってしまったが、雑草のおかげで台風の被害を受けなかったと聞いて、雑草も役立つと思った。のこぎりガマは切れ味が良く稻も簡単に切れた。今回の自然観察は、涼しくなったからか、生物の数種が増えている。寒くなってからは、生物にどんな変化があるかも、調べてみたい。(S.U)

★植えた時よりも稻が大きくなっていて、長かったので、当たったら「痛い」という事がよく分かった。稻は抜くのも刈るのもとても大変だった。地道にコツコツ田植えから稻刈りまで手で作業して、お米は大切な存在だと思う。自然観察では、まだ見た事もなかったものも見れた。(A.Y)

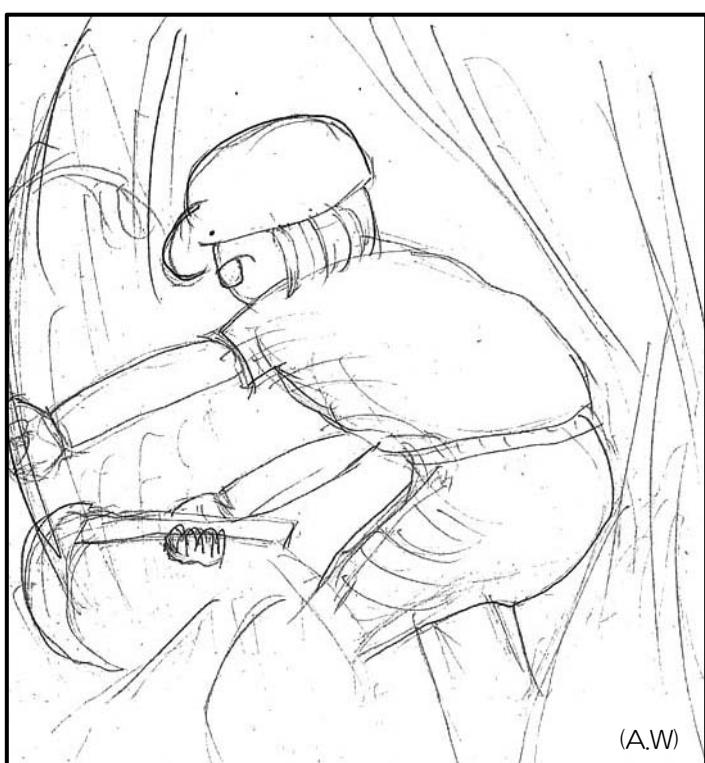
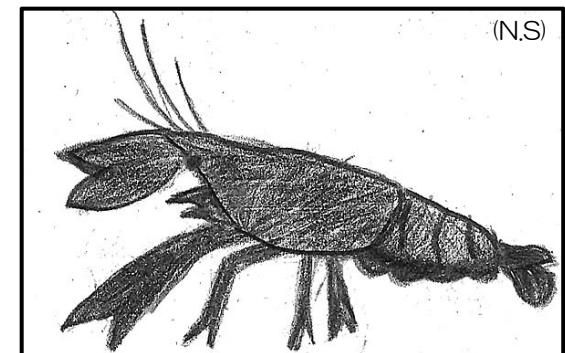
★1本の苗からたくさんのお米ができていました。鳥から守ってくれた力カシさんにも感謝です。稻刈りは、本来ならば大人が行う作業だそうです。難しそうに見えたけど、思ったより簡単でした。一番大変だったのは、一束を見つける事です。おいしいお米になってほしいです。(Y.H)

★最初に田んぼに入った時はいやだったけれど、今回はズカズカと入った。稻刈りは難しく危険な「仕事」なので、稻の持ち方、カマの使い方などに注意し一株目を刈った。うれしくて、刈りすすめ、ついに残り二株になった。あと少しと足元を見下ろし、そこにいる虫を見て「田んぼにいる虫たちは、おいしいお米を育ってくれる仲間だよ。」という赤シャツおやじさんの言葉を思い出した。YPP・ボランティアの人・先生そして田んぼの虫に感謝し丁寧に九株刈り終えた。(M.K)

★稻がとっても大きくなっていて、やりがいがあるなと思った。のこぎり鎌だったので良く稻が切れて気持ち良かった。自然観察では夏よりも生き物が増えていることがわかった。夏にいた生き物はさらに大きくなり、新しく生まれた小さいのもいた。(Y.O)

★最初1本しかなかった稻が、どんどん大きくなつてお米になつたことに驚いた。稻刈りは思っていたよりも難しくてビックリした。中々切れなかつたけど、先生に教えてもらつたら、上手に出来て嬉しかつた。今までの自然観察よりも、田んぼにいる生き物が減つていた。たくさんいたアカガエルなどは田んぼの横にある森(山)にいると教えてもらつた。(N.S)

★稻が立派に育つていてうれしかつた。でも、靴下のまま田んぼに入ると聞いた時、少しいやだつた。意を決して入つた時、「ズボッ」と勢いよく入つてビックリした。植えた時とはまた違う感覚だ。刈つた稻を持ってもらって、苦労しながらも何とか刈り終えた。写真などでよく稻の先を上にして持つてゐるが、ケガしやすいので下にした方が良いと聞いて、なるほどと思い、勉強になつた。一生に一度しかできないかもしれない特別な体験がでつて良かった。(A.W)



★「体験でなく仕事」のつもりで稻を刈つた。汚れないためとカマが当たつてもゲガをしないようにという事で長い靴下で田んぼに入った。あすみ田んぼに二回入つた事があつたので、少し懐かしい感じがした。いざ、稻を刈つてみると楽しかつた。ケガをしなくてよかつた。小さな苗から育てたので、丈夫に育つて米ができるとうれしかつた。この米は絶対おいしいと思つた。(H.R)

★1本ずつ植えた苗が束になつて大きくなり、成長してた。カマは横に引いて使う物だつた。稻は葉先が乾燥しつがつてあるから逆にして持つた。今回の稻は台風にも耐え、カカシのおかげでスズメからも守られた。稻は虫もたくさんいて環境が良い所で育つ。お米は人と虫を支えてる大事だと分かり、これからは普段食べているお米にも感謝しようと改めて思つた。(M.W)

★稻が台風で倒れたりせず、大きく育つていて努力したかいがあった。スズメに稻を食べられずに済んでいたので、カカシを作ってくれた友達に感謝したい。稻は大きくて硬いので、中々切れないのであった。さらに田んぼにはまつたりして大変だった。おいしい米ができたらいいな。最後に、赤シャツおやじさんから、『全ての生き物に太陽が関わっている事』を聞いた。(R.O)



里山たんけんレポート

第201回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2016年10月2日（日）くもり時々晴れ
谷津はミゾソバ、アキノウナギツカミなどタデ科、センダングサの仲間、ヨシやオギなど大型のイネ科植物など秋の草々の花がいっぱいです。何故かキバナアキギリの群落が大きくなって見事でした。例年楽しめる栗拾いは以前の台風で若いイガが落とされたためか少ないようでした。アケビはまだ堅い実が多くあまり口にできませんでした。ニガキの木には大きなシンジュサンの幼虫が複数匹いました。白くて大きい見事な肢体に歓声が上がりました。シンジュサンはどんな味の葉っぱを食べているのか皆で葉を嚙ってみました。まさに木の名前の通りでした。嚙るといえば田の中に咲き始めたヤナギタデも口にしました。この芽が刺身のツマに出て来たり、鮎の蓼酢で「蓼食う虫も好き好き」の夢です。オオタカが谷津を横切って飛びました。種は判りませんでしたが高いところを飛ぶ猛禽の姿も見ました。ヤマカガシがいて触って感触を体感しました。いろいろ楽しみながらもトンボの調査も兼ねているのでトンボを求めて捕虫網を振るいながら巡りました。8種95頭を捕え内92頭にマークして放しました。9月にマークした152頭のトンボは1頭も捕まりませんでした、ノシメトンボの翅端の褐色斑のない個体が捕まりました。また、カトリヤンマも捕まえました。

（参加 大人13名、高校生12名、小学生4名、幼児2名；報告：網代春男）

第196回 下大和田YPP「コシヒカリの脱穀」

天気予報によるとお昼頃から雨。そこで急遽開始時刻を早めることにして8時から脱穀をスタートしました。脱穀したのは9月22日に刈ったコシヒカリと農林一号の2種類です。脱穀機が調子よく動いてくれたおかげで脱穀はどんどん進みました。脱穀しきれなかった稻からは手作業でモミを外しましたが、大勢の方が協力してくれたのでこちらも順調。雨が降り出す前に余裕で脱穀を終えることができました。ちょっと残念だったのは収穫量が例年よりも少なかったこと。稻刈りをしていても稻が軽いなあと感じたのですが、その通りの結果となりました。それでも自分たちで育てたお米。もみすりをして食べるのが楽しみです。脱穀機を片付け始めた時に雨がポツポツと降ってきました。

（参加 大人22名、小学生11名、幼児2名、報告 高山邦明）

2016年10月8日（土）くもり



第197回 下大和田YPP「古代米の稻刈り」

後半の稻刈りは古代米の緑米、赤米、黒米の3種類です。この中で一番刈るのが大変なのは緑米。一番泥深い田んぼで育てているのでその中を歩くだけでもひと苦労です。田んぼの中の方の稻は刈った後に畦まで運ばないといけないので、その手間を省くために刈った稻をソリの上に置いてまとめて運ぶようにしました。稻を刈る人、運ぶ人、稻束を結わえる人、オダにかける人と手分けをしてスムーズに作業が進み、お昼をゆっくり食べても予定よりも早く刈り終えることができました。あとは脱穀を残すのみ。今年の米づくりもあともう少しで完了です。

（参加 大人26名、高校生1名、小・中学生13名、幼児5名、報告 高山邦明）

2016年10月22日（土）くもり

第133回 小山町YPP「古代米の稻刈り」

古代米の黒米の稻刈りをしました。コシヒカリの田んぼの雑草がひどく、稻刈りにとても時間がかかるて苦労したのですが、黒米の田んぼはなぜかいつも雑草が少なく、稻刈りがどんどん進みます。「これこそが“正しい稻刈り”だね」と話しながら気持ちのいい作業で、あっという間に刈り終ってしまいました。今年は台風が多くやってきたことから、オダは田んぼではなく、広場に立てています（右の写真）。風でオダが倒れても、稻が飛ばされても簡単に直せるので安心です。去年はオダかけしたお米をカモにかなり食べられてしまい、途中からネットを張らないといけなかったのですが、広場だとカモが来ないのでその意味でもラクで安心です。

（参加 大人7名、幼児1名、報告 高山邦明）

2016年10月16日（日）晴れ



<谷津田・季節のたより>

小山町

10月 2日 稲刈りが終った田んぼでマユタテアカネが泥にしつぽを打ちつけて産卵していた（高山）。
10月 3日 ハイタカラしき鳥がセキレイに追われていた。ツクツクボウシが鳴く（高山）。
10月 9日 セイタカアワダチソウが開花。モズがもう1羽のモズを追いかけていた（高山）。
10月 22日 林縁でヤクシソウが黄色い花を咲かせていた（高山）。

下大和田

10月 8日 セイタカアワダチソウが開花。モズが他の鳥の鳴き真似をしていました（高山）。
10月 26日 アオジの地鳴きを聞く、今シーズン初（網代）。
10月 31日 カシラダカ、アトリ観察、今シーズン初。アトリは下大和田初。いよいよ冬鳥のシーズン到来（網代）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下の子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第199回「もみすり」・200回「収穫祭」（兼第12・13回米づくり講座）

今年収穫したお米のモミすりをします。モミすりは田んぼから離れた場所で行いますので、参加をご希望の方は事前にちば環境情報センターまで電話ないしはメールにてお知らせください。

そして、今年最後のイベントは収穫祭です。緑米を使ってのもちつきなど、米づくりを振り返りながら楽しみましょう。

日 時：もみすり 2016年11月12日（土）9時45分～14時 ☆雨天でも実施
収穫祭 2016年12月10日（土）9時45分～14時 ☆小雨決行

場 所：もみすり 千葉市若葉区野呂 千葉市農政センター
収穫祭 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧下さい。
また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集 合：もみすり 農政センター正門前に9時45分
収穫祭 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分＜千葉駅発8:25、8:40など＞料金は520円）

持ち物：弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。収穫祭ではお皿・お椀・はし

参加費：もみすり ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料

収穫祭 小学生以上一律 500円（食材費を含む特別料金です）、小学生未満無料

主 催：ちば環境情報センター 共 催：ちば・谷津田フォーラム

▼第203回 下大和田 12月の谷津田観察会とごみ拾い

木々の紅葉を楽しみながら冬越しにやってきた鳥たちを求めて谷津をめぐります。

日 時：2016年12月4日（日）9時45分～12時 ☆小雨決行

場 所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集 合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（下大和田YPPと同じ）

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費：100円（小学生以上、資料代など）

主 催：ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時：2016年11月13日（日）、11月18日（金）いずれも9時45分～15時

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上） 持ち物：飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催：ちば環境情報センター

▼第134回 小山町YPP「もみすり」

収穫した稻のもみすりをします。今年最後の田んぼでの作業です。

日 時：2016年11月23日（水・祝）10:00～12:30、小雨決行

場 所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場近隣の農家庭先（ご連絡いただければ地図をお送りします）

持ち物：飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費：100円（小学生以上、資料代など）

主 催：ちば環境情報センター

編集後記 10月に入てもまだ真夏日や夏日があるような暖かな今年の秋でしたが、下旬になってようやくそれらしい天候になってきました。谷津にはアオジやショウビタキなど冬の鳥たちが飛来し始めています。下大和田でアトリの姿を見たという話も聞き、近隣の自然公園の池にはたくさんのオシドリの姿がありました。谷津の冬は野鳥を観察するに絶好の季節です。今年はどんな鳥が見られるのか楽しみです。皆さんも身近な谷津にぜひかけてみてください。

（高山 邦明）